



福岡医発第602号(地)

平成28年 5月24日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

平成28年度視覚障害者用補装具適合判定医師研修会の開催について

今般、標記の件につきまして、別添のとおり厚生労働省より福岡県福祉労働部障害者福祉課を通じて連絡がありました。

研修会の詳細につきましては、別添の実施要綱をご参照ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただき、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

なお、

- 1) 受講を希望される場合は、各回の締切日までに直接国立障害者リハビリテーションセンター学院宛にお申し込みください。
- 2) 指定自立支援(育成・更生)医療機関(眼科)及び身体障害者福祉法第15条第1項に規定する医師(眼科)の所属する医療機関には障害者福祉課より直接通知されております。

記

※本研修会申込先・照会先

〒359-8555

埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL 04-2995-3100

FAX 04-2996-0966

メールアドレス ml-gakuin-kensyu3@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/Japanese/training/28train.html>

「公印省略」

28障第577号

平成28年5月13日

福岡県医師会会長 殿

福岡県福祉労働部障害者福祉課長
(自立支援係)

平成28年度視覚障害者用補装具適合判定医師研修会の開催について

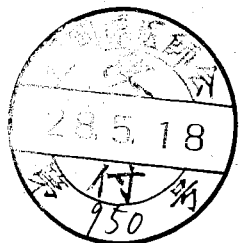
このことについて、別添のとおり厚生労働省から通知がありましたのでお知らせします。

つきましては、貴会会員への周知に御配慮くださいますようお願いいたします。

また、受講希望の場合は、各回の締切までに国立障害者リハビリテーションセンター学院へ直接お申込みください。

なお、指定自立支援（育成・更生）医療機関（眼科）及び身体障害者福祉法第15条第1項に規定する医師（眼科）の所属する医療機関には当課から通知済であることを申し添えます。

福祉労働部障害者福祉課
自立支援係 担当：荒巻
TEL:092-643-3263
FAX:092-643-3304



障 発 0428 第 9 号

平成 28 年 4 月 28 日

都道府県知事
各 政令指定都市市長 } 殿
中核市市長

厚生労働省社会・援護局
障害保健福祉部長
(公印省略)

平成 28 年度視覚障害者用補装具適合判定医師研修会の開催について

標記研修会を別添要綱により開催することとしたので、貴管内関係施設及び団体等への周知等につき、特段の御配慮を願いたい。

平成 28 年度視覚障害者用補装具適合判定医師研修会実施要綱

- 1 目 的
視覚障害者用補装具適合判定に従事する医師の研修を行い、判定技術の向上を図るとともに、医学的リハビリテーションを推進することを目的とする。
- 2 主 催
厚生労働省
- 3 期 間
第1回 平成28年 8月 4日(木)～ 8月 6日(土)
第2回 平成28年12月 8日(木)～12月10日(土)
- 4 会 場
国立障害者リハビリテーションセンター学院(埼玉県所沢市並木4-1)
- 5 定 員
各50名
- 6 受講資格
身体障害者更生相談所又は病院等において視覚障害者補装具の適合判定に従事する医師、または今後当該業務に従事する予定の医師
- 7 研修内容
別紙日程表(案)のとおり
- 8 研修会費用
各回とも23,700円(初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含みません。)
- 9 受講手続
受講希望者は、当センター学院ホームページ(下記 URL)にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。
- 10 応募締め切り
受講希望者は、次の期日までにお申し込みください。
なお先着順とし、定員になり次第、募集を締め切ります。
第1回 平成28年 6月27日(月)
第2回 平成28年10月21日(金)
- 11 受講決定通知
次の期日までに本人宛に受講のご案内をメールにてお送りします。
※ 先着順ですが、受講資格の確認等をさせていただいたうえで受講決定を行い、併せて研修受講のご案内についての連絡をさせていただきます。
第1回 平成28年 7月 4日(月)迄に
第2回 平成28年10月28日(金)迄に
- 12 修了証書
研修全日程を修了した方に対し、修了証書を授与します。
- 13 宿泊施設
本センターの研修用宿泊施設に宿泊を希望する方は、受講申込書の宿泊希望欄の「希望する」にチェックをして下さい。なお宿泊希望者が定員を超えた場合には抽選となります。宿泊費用は一泊1,910円。各回初日の研修会終了後の入舎となります。
- 14 受講修了者
本研修会の受講修了者は、補装具適合判定業務の円滑な実施に資するため、各都道府県、指定都市及び中核市からの照会に対し、情報提供を行います。

15 本研修会の受講申込先、照会先等

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院

TEL04-2995-3100 (内線 2612) FAX04-2996-0966

電子メール ml-gakuin-kensyu3@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/training/28train.html>

平成28年度 第1回視覚障害者用補装具適合判定医師研修会日程表

月日	午 前	午 後
8月 4日 (木)	受付 (8:30～ 9:00) 開講式 (9:10～ 9:30) ① 視覚障害者支援と補装具概論 (9:30～ 10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ② 実習Ⅰ(含講義) (10:40～12:00) ・ハイパワープラスレンズ眼鏡・偏心視・遮光眼鏡 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀	③ 実習Ⅱ(含講義) (13:00～15:15) ・必要倍率の算定方法(近見チャート)・拡大鏡・弱視眼鏡 ・拡大読書器 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 ④ 実習Ⅲ(含講義) (15:30～17:15) ガイド・疑似体験 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 中西 勉 病院 第二診療部 林 知茂 自立支援局 河原 佐和子
5日 (金)	⑤ 視覚リハビリテーション (9:00～9:20) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ⑥ 日常生活用具 (9:20～9:50) 国立障害者リハビリテーションセンター 学院 視覚障害学科 松崎 純子 ⑦ IT 機器(タブレット型端末) (9:50～10:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂 ⑧ 実習Ⅳ (10:20～11:50) ・弱視眼鏡・拡大鏡・義眼 ・拡大読書器・日常生活用具・IT 機器(音声パソコン) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 中西 勉 ⑨ 視覚障がい者スポーツ (11:50～12:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂	⑩ 小児のロービジョンケア (13:10～13:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 ⑪ ロービジョンケアの連携(総論) (13:30～14:10) 勤医協札幌病院 永井 春彦 ⑫ ロービジョンケアの連携(各論) (14:20～15:30) 講師調整中 ⑬ 患者が望むこと (15:40～16:40) ⑭ 総合討論 (16:40～17:00)
6日 (土)	⑮ 診断書等の書き方と事例 (9:00～10:20) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ⑯ 実習Ⅴ (10:30～12:30) 疑似症例 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 病院 第二診療部 林 知茂	

※ 講師の都合により、変更があり得ますので御了承下さい。

平成28年度 第2回視覚障害者用補装具適合判定医師研修会日程表

月日	午 前	午 後
12月 8日 (木)	受付 (8:30～ 9:00) 開講式 (9:10～ 9:30) ① 視覚障害者支援と補装具概論 (9:30～ 10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ② 実習Ⅰ(含講義) (10:40～12:00) ・ハイパワープラスレンズ眼鏡・偏心視・遮光眼鏡 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀	③ 実習Ⅱ(含講義) (13:00～15:15) ・必要倍率の算定方法(近見チャート)・拡大鏡・弱視眼鏡 ・拡大読書器 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 ④ 実習Ⅲ(含講義) (15:30～17:15) ガイド・疑似体験 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 中西 勉 病院 第二診療部 林 知茂 自立支援局 河原 佐和子
9日 (金)	⑤ 視覚リハビリテーション (9:00～9:20) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ⑥ 日常生活用具 (9:20～9:50) 国立障害者リハビリテーションセンター 学院 視覚障害学科 松崎 純子 ⑦ IT 機器(タブレット型端末) (9:50～10:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂 ⑧ 実習Ⅳ (10:20～11:50) ・弱視眼鏡・拡大鏡・義眼 ・拡大読書器・日常生活用具・IT 機器(音声パソコン) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 中西 勉 ⑨ 視覚障がい者スポーツ (11:50～12:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 林 知茂	⑩ 小児のロービジョンケア (13:10～13:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 ⑪ ロービジョンケアの連携(総論) (13:30～14:10) 勤医協札幌病院 永井 春彦 ⑫ ロービジョンケアの連携(各論) (14:20～15:30) 講師調整中 ⑬ 患者が望むこと (15:40～16:40) ⑭ 総合討論 (16:40～17:00)
10日 (土)	⑮ 診断書等の書き方と事例 (9:00～10:20) 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 第二診療部 清水 朋美 ⑯ 実習Ⅴ (10:30～12:30) 疑似症例 国立障害者リハビリテーションセンター 病院 リハビリテーション部 三輪 まり枝 山田 明子 西脇 友紀 病院 第二診療部 林 知茂	

※ 講師の都合により、変更があり得ますので御了承下さい。